

# 第5次白老町総合計画 検証報告書

令和元年6月  
白老町  
(企画課 企画グループ)

# 【 目 次 】

◇ 第5次白老町総合計画 検証報告書	
1 第5次白老町総合計画の概要	
(1) 計画期間	2
(2) 計画の構成	2
(3) まちの将来像	2
(4) 総合計画の施策体系	2
2 人口の推移	
(1) 人口・世帯数の推移	3
(2) 人口動態の状況	3
3 これまでの主な事業・取組み	4
4 評価結果	
(1) 評価の方法	4
(2) 基本方針（分野）別の評価結果	4
(3) 基本施策別の評価結果	5
(4) 基本施策別の内部評価と外部評価の散布図	6
(5) 重点プロジェクト別の評価結果	7
5 検証結果	
(1) 検証の目的	8
(2) 全体検証	8
(3) 分野別検証	
生活・環境	9
健康・福祉	10
教育・生涯学習	11
産業	12
自治	13
(4) 目標人口検証	14
6 総括	15
別紙 これまでの主な事業・取組み	16
◇ 資料1 第5次白老町総合計画 成果報告書	
◇ 資料2 第5次白老町総合計画 内部評価書	

# 1 第5次白老町総合計画の概要

(1) 計画期間 平成24年度～令和元年度（8年間）

(2) 計画の構成

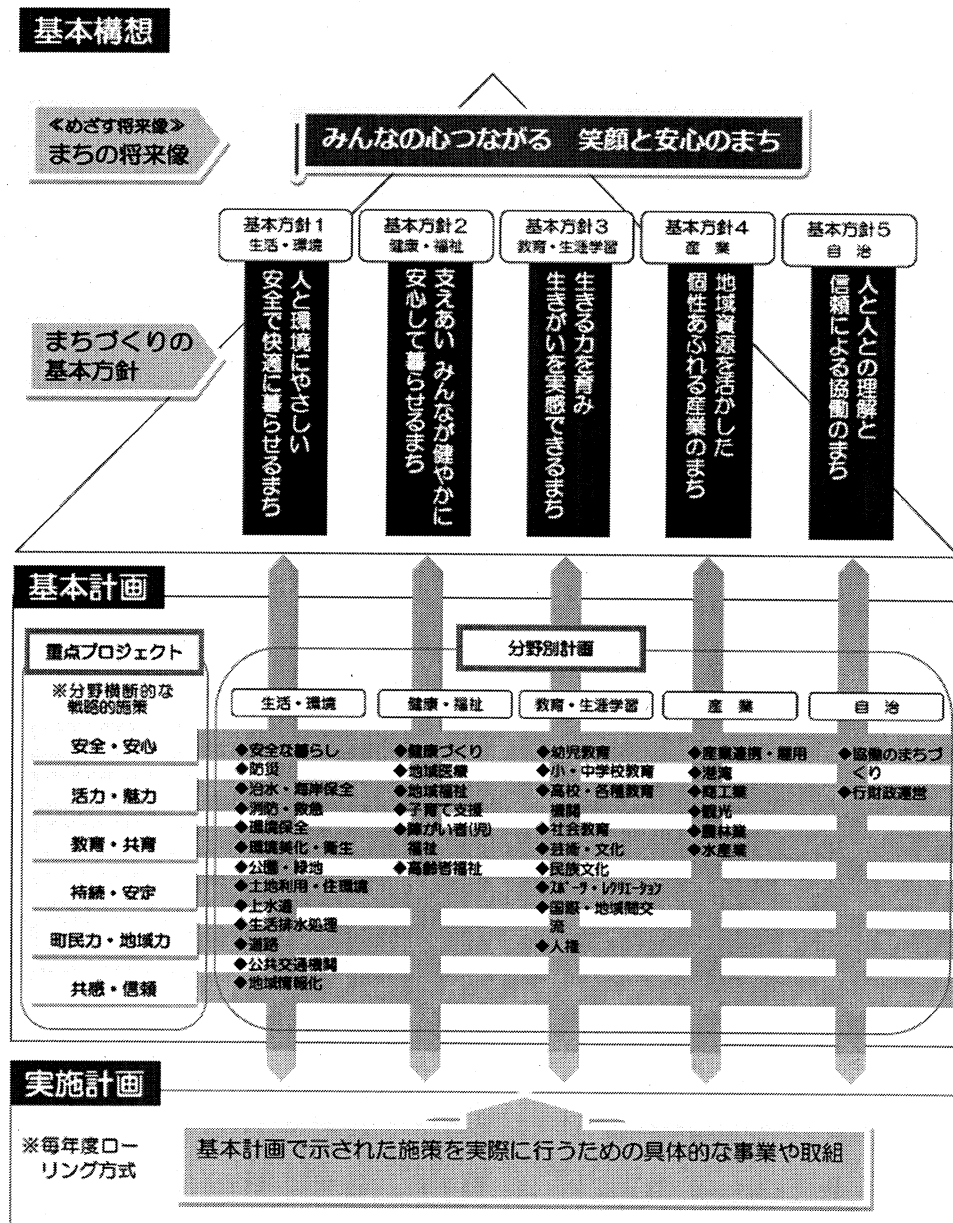
基本構想：目指すべき将来像やまちづくりの基本方針（8年）

基本計画：施策の体系や重点プロジェクト（8年）

実施計画：具体的な事業の内容（3年）

(3) まちの将来像 「みんなの心つながる 笑顔と安心のまち」

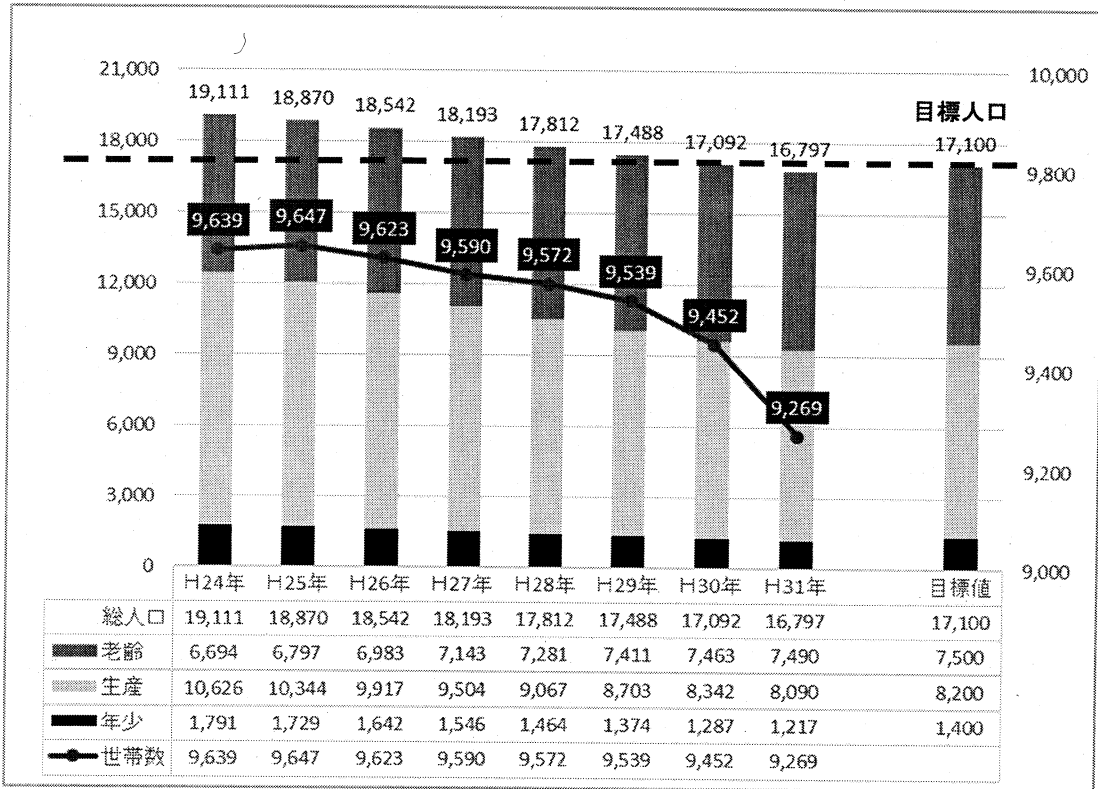
(4) 総合計画の施策体系



## 2 人口の推移

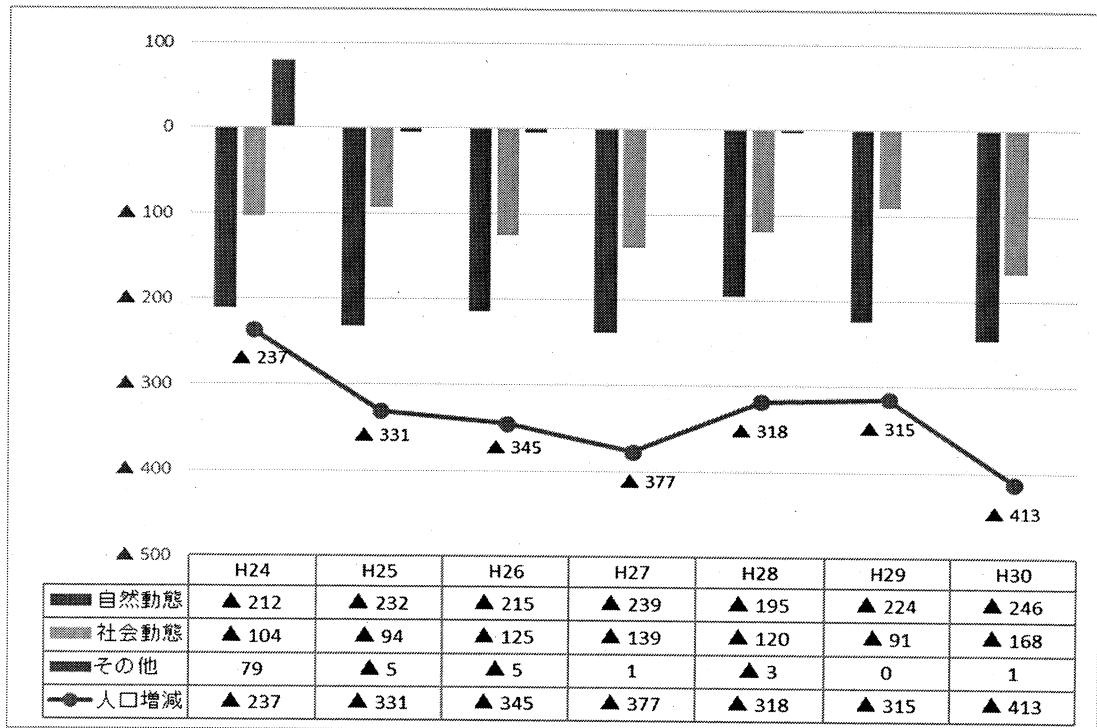
### (1) 人口・世帯数の推移

※住民基本台帳 基準日3月末日



### (2) 人口動態の状況

※住民基本台帳 基準日9月末日

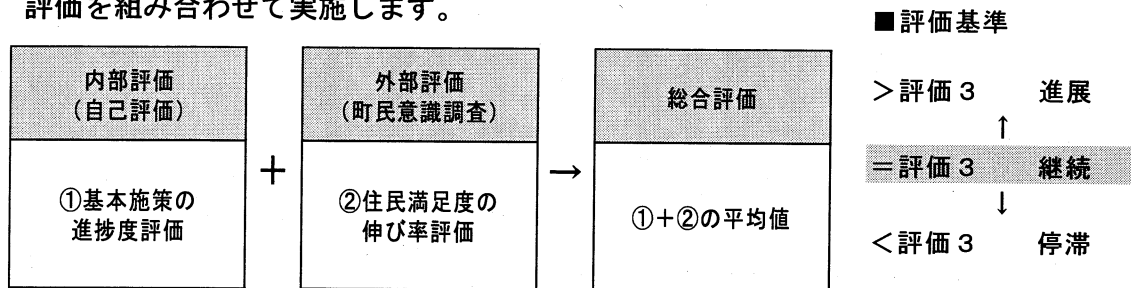


3 これまでの主な事業・取組み  
別紙のとおり

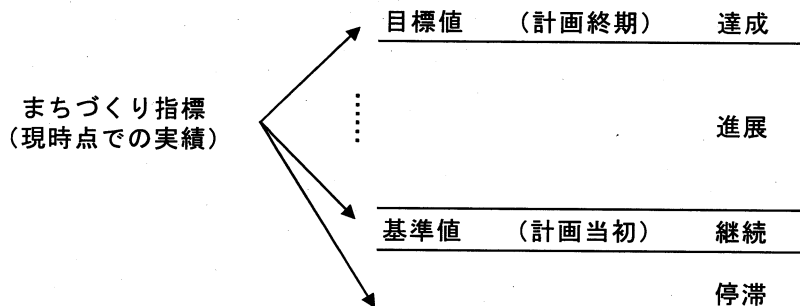
4 評価結果

(1) 評価の方法

- 計画当初から現時点までの基本施策の進捗度を数値化して評価を行います。  
評価は担当課による内部評価と、平成31年度まちづくり町民意識調査による外部評価を組み合わせ実施します。



- 計画当初に設定したまちづくり指標を活用し、目標への近接度を測定します。



(2) 基本方針 (分野) 別の評価結果

基本方針 (分野)	内部評価	住民満足度 伸び率評価	総合評価	まちづくり指標			
				達成	進展	継続	停滞
生活・環境	3.7	3.0	3.4	11 (30%)	8 (21%)	3 (8%)	15 (41%)
健康・福祉	3.7	3.3	3.5	9 (33%)	5 (19%)	1 (4%)	12 (44%)
教育・生涯学習	3.7	3.0	3.4	10 (40%)	2 (8%)	3 (12%)	10 (40%)
産業	3.6	3.1	3.4	6 (35%)	2 (12%)	1 (6%)	8 (47%)
自治	3.5	3.6	3.6	3 (30%)	1 (10%)	0	6 (60%)
計	3.6	3.2	3.5	39 (34%)	18 (16%)	8 (6%)	51 (44%)

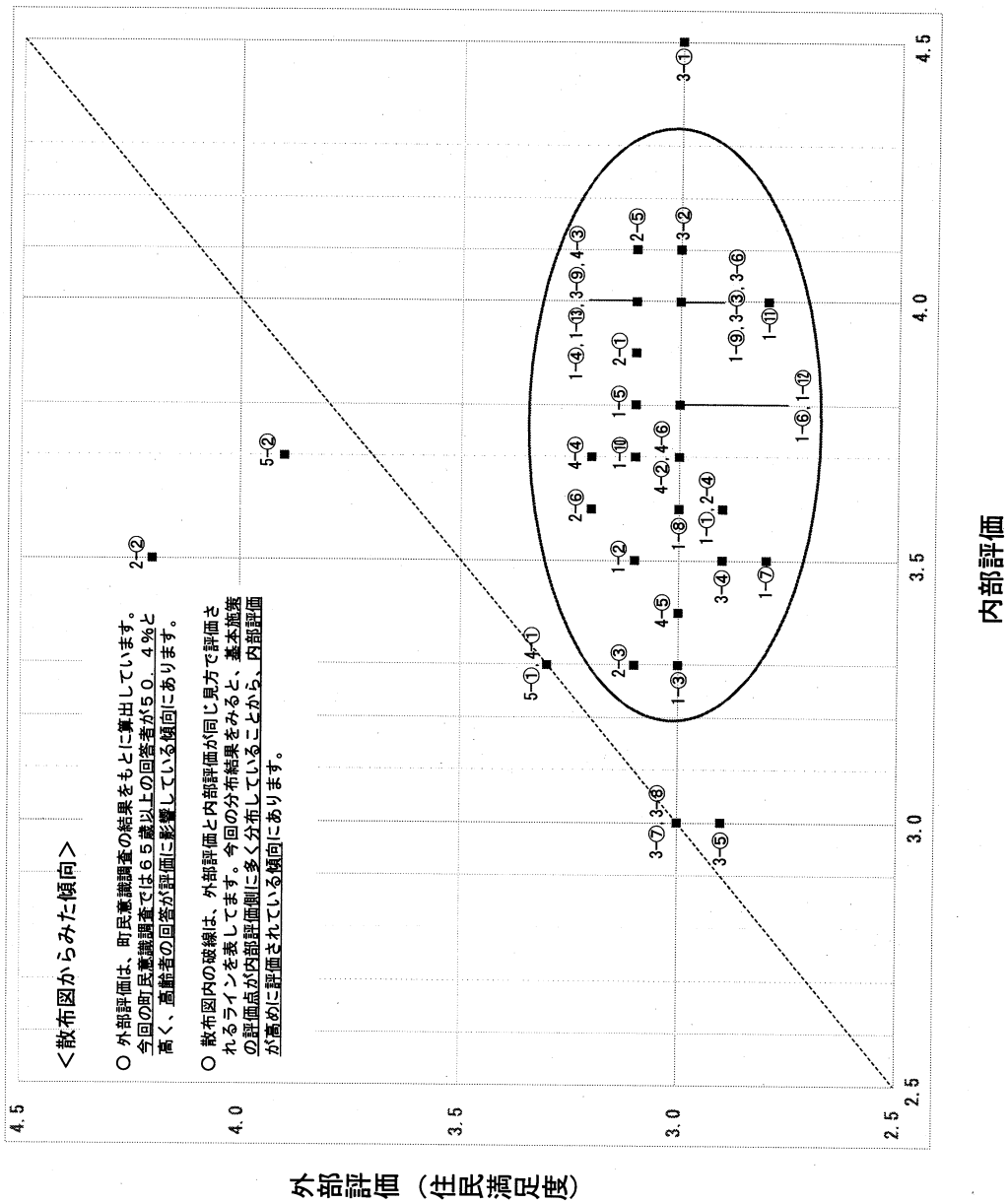
### (3) 基本施策別の評価結果

分野	基本施策	内部評価	住民満足度	総合評価	まちづくり指標			
					達成	進展	継続	停滞
生活・環境	①安全な暮らし	3.6	2.9	3.3	3 (100%)	0	0	0
	②防災	3.5	3.1	3.3	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)	1 (20%)
	③治水・海岸保全	3.3	3.0	3.2	-	-	-	-
	④消防・救急	4.0	3.1	3.6	2 (50%)	1 (25%)	0	1 (25%)
	⑤環境保全	3.8	3.1	3.5	0	0	0	3 (100%)
	⑥環境美化・衛生	3.8	3.0	3.4	0	2 (50%)	0	2 (50%)
	⑦公園・緑地	3.5	2.8	3.2	1 (33.3%)	0	0	2 (66.6%)
	⑧土地利用・住環境	3.6	3.0	3.3	1 (25%)	2 (50%)	0	1 (25%)
	⑨上水道	4.0	3.0	3.5	0	1 (50%)	0	1 (50%)
	⑩生活排水処理	3.7	3.1	3.4	0	0	1 (50%)	1 (50%)
	⑪道路	4.0	2.8	3.4	1 (33.3%)	0	1 (33.3%)	1 (33.3%)
	⑫公共交通機関	3.8	3.0	3.4	0	0	0	2 (100%)
	⑬地域情報化	4.0	3.1	3.6	2 (100%)	0	0	0
健康・福祉	①健康づくり	3.9	3.1	3.5	1 (20%)	1 (20%)	1 (20%)	2 (40%)
	②地域医療	3.5	4.2	3.9	0	0	0	4 (100%)
	③地域福祉	3.3	3.1	3.2	0	2 (50%)	0	2 (50%)
	④子育て支援	3.6	2.9	3.3	3 (60%)	1 (20%)	0	1 (20%)
	⑤障がい者福祉	4.1	3.1	3.6	3 (60%)	0	0	2 (40%)
	⑥高齢者福祉	3.6	3.2	3.4	2 (50%)	1 (25%)	0	1 (25%)
教育・生涯学習	①幼児教育	4.5	3.0	3.8	0	0	0	1 (100%)
	②小・中学校教育	4.1	3.0	3.6	0	2 (50%)	0	2 (50%)
	③高校・各種教育機関	4.0	3.0	3.5	-	-	-	-
	④社会教育	3.5	2.9	3.2	2 (40%)	0	1 (20%)	2 (40%)
	⑤芸術・文化	3.0	2.9	3.0	1 (25%)	0	1 (25%)	2 (50%)
	⑥民族文化	4.0	3.0	3.5	2 (66.6%)	0	0	1 (33.3%)
	⑦スポーツ・レクリエーション	3.0	3.0	3.0	2 (100%)	0	0	0
	⑧国際・地域間交流	3.0	3.0	3.0	2 (100%)	0	0	0
	⑨人権	4.0	3.1	3.6	1 (25%)	0	1 (25%)	2 (50%)
産業	①産業連携・雇用	3.3	3.3	3.3	0	0	1 (33.3%)	2 (66.6%)
	②港湾	3.7	3.0	3.4	2 (100%)	0	0	0
	③商工業	4.0	3.1	3.6	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0	1 (33.3%)
	④観光	3.7	3.2	3.5	0	1 (50%)	0	1 (50%)
	⑤農林業	3.4	3.0	3.2	3 (60%)	0	0	2 (40%)
	⑥水産業	3.7	3.0	3.4	0	0	0	2 (100%)
自治	①協働のまちづくり	3.3	3.3	3.3	2 (33.3%)	1 (16.6%)	0	3 (50%)
	②行財政運営	3.7	3.9	3.8	1 (25%)	0	0	3 (75%)

※総合評価では、[健康・福祉] ②地域医療3.9、[教育・生涯学習] ①幼児教育3.8と高い評価となっていますが、まちづくり指標評価では、ともに停滞の評価となっています。この評価結果の差は、まちづくり指標の目標数値の設定や、評価実施時における社会情勢、町民意識調査の年齢構成等によって生じている傾向にあり、今後、評価方法の研究を行っていきます。

(4) 基本施策別の内部評価と外部評価の散布図

1-①	①安全な暮らし
1-②	②防災
1-③	③治水・海岸保全
1-④	④消防・救急
1-⑤	⑤環境保全
1-⑥	⑥環境美化・衛生
1-⑦	⑦公園・緑地
1-⑧	⑧土地利用・住環境
1-⑨	⑨上水道
1-⑩	⑩生活排水処理
1-⑪	⑪道路
1-⑫	⑫公共交通機関
1-⑬	⑬地域情報化
2-①	①健康づくり
2-②	②地域医療
2-③	③地域福祉
2-④	④子育て支援
2-⑤	⑤障がい者福祉
2-⑥	⑥高齢者福祉
3-①	①幼児教育
3-②	②小・中学校教育
3-③	③高校・各種教育機関
3-④	④社会教育
3-⑤	⑤芸術・文化
3-⑥	⑥民族文化
3-⑦	⑦スポーツ・レクリエーション
3-⑧	⑧国際・地域間交流
3-⑨	⑨人権
4-①	①産業連携・雇用
4-②	②港湾
4-③	③商工業
4-④	④観光
4-⑤	⑤農林業
4-⑥	⑥水産業
5-①	①協働のまちづくり
5-②	②行財政運営



## (5) 重点プロジェクト別の評価結果

### ○ 重点プロジェクト別評価

重点プロジェクト	内部評価	住民満足度	総合評価	まちづくり指標			
				達成	進展	継続	停滞
安心・安全	3.7	3.1	3.4	17 (32.1%)	12 (22.6%)	3 (5.7%)	21 (39.6%)
活力・魅力	3.7	3.1	3.4	16 (28.6%)	8 (14.3%)	5 (8.9%)	27 (48.2%)
教育・共育	3.9	3.0	3.5	10 (31.2%)	5 (15.6%)	3 (9.4%)	14 (43.8%)
持続・安定	3.7	3.2	3.5	10 (27.8%)	5 (13.9%)	1 (2.8%)	20 (55.6%)
町民力・地域力	3.6	3.1	3.3	18 (34.6%)	10 (19.2%)	2 (3.8%)	22 (42.3%)
共感・信頼	3.6	3.4	3.5	7 (38.9%)	2 (11.1%)	0	9 (50.0%)
計	3.7	3.2	3.4	78 (31.6%)	42 (17.0%)	14 (5.7%)	113 (45.7%)

### ○ 重点プラン別評価

重点プロジェクト	重点プラン	内部評価	住民満足度	総合評価	まちづくり指標			
					達成	進展	継続	停滞
安心・安全	①もしもに備えた安心のまちづくり	3.7	3.2	3.5	4 (20.0%)	5 (25.0%)	2 (10.0%)	9 (45.0%)
	②自立して暮らせる地域づくり	3.7	3.1	3.4	8 (44.4%)	3 (16.7%)	0	7 (38.9%)
	③自主的な健康づくり	3.7	3.1	3.4	5 (33.3%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	5 (33.3%)
活力・魅力	④「食」をテーマにした活力あるまちづくり	3.7	3.1	3.4	6 (25.0%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	12 (50.0%)
	⑤風土を育み、誇りと愛着がもてるまちづくり	3.6	3.0	3.3	5 (29.4%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	9 (52.9%)
	⑥働く場があるまちづくり	3.8	3.1	3.4	5 (33.3%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	6 (40.0%)
教育・共育	⑦子どもを生み育てやすい環境づくり	3.8	3.0	3.4	5 (27.8%)	3 (16.7%)	2 (11.1%)	8 (44.4%)
	⑧子ども・若者の可能性を伸ばす環境づくり	3.9	3.0	3.5	5 (35.7%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	6 (42.9%)
持続・安定	⑨自然と調和するまちづくり	3.7	3.0	3.3	7 (31.8%)	4 (18.2%)	0	11 (50.0%)
	⑩安定した財政力を維持するまちづくり	3.7	3.4	3.6	3 (21.4%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	9 (64.3%)
町民力・地域力	⑪協働する意識や意欲をもった人づくり	3.6	3.1	3.3	14 (33.3%)	8 (19.0%)	2 (4.8%)	18 (42.9%)
	⑫町民が活動しやすい環境づくり	3.5	3.1	3.3	4 (40.0%)	2 (20.0%)	0	4 (40.0%)
共感・信頼	⑬町民と行政が情報を共有する環境づくり	3.7	3.2	3.4	4 (50.0%)	1 (12.5%)	0	3 (37.5%)
	⑭町民に信頼される役場づくり	3.5	3.6	3.6	3 (30.0%)	1 (10.0%)	0	6 (60.0%)



## 5 検証結果

### (1) 検証の目的

第5次総合計画のこれまでの取組みや成果を明らかにするとともに、次期計画の策定に向け、今後の課題や取組みの方向性等について整理するため、検証を行います。

### (2) 全体検証

- 評価結果から全体評価をみると、総合評価が「3.5」、まちづくり指標の進展以上の割合が「50%」であることから、基本構想に掲げた基本方針（分野別計画）が将来像の実現に向け、計画策定当初より“やや進展”したものと分析しております。
- 基本方針（分野）別に総合評価をみると、自治が「3.6」、健康・福祉が「3.5」、残りが「3.4」という結果になりました。また、まちづくり指標の進展以上の割合は、健康・福祉が「52%」と最も高く、自治が「40%」と最低値となっていることから、第5次総合計画では、健康・福祉分野が、他の分野に比べ、達成状況が良いものと分析しております。
- 基本施策別の評価は、124本の基本事業を1本ずつ評価・検証し、それを36本の基本施策として取りまとめた結果となっております。基本施策別の総合評価をみると、地域医療が「3.9」、幼児教育が「3.8」、行財政運営が「3.8」と高評価である一方、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション、国際・地域間交流が「3.0」と最低値となりました。
- 基本施策別の散布図をみると、外部評価と内部評価の乖離が顕著にあらわれました。外部評価においては高齢者の意見が他の世代に比べ大きく反映されていること、内部評価においては基本施策の取組みが町民側に共有されず、行政側の一面的な見方となっていることが要因であると分析しております。
- 総合評価とまちづくり指標評価においては、相関が弱い傾向にあります。一般的に総合評価が高いと、まちづくり評価指標も高くなる傾向にありますが、一部の基本施策においては、その傾向が見られませんでした。これは、まちづくり指標の達成度が住民満足度に直結する指標ではないこと等が要因であると捉えております。この点については、評価指標の見直し等の検討が必要であると分析しております。
- 重点プロジェクトの全体評価をみると、総合評価が「3.4」、まちづくり指標の進展以上の割合が「48.6%」となり、重点プロジェクトが“やや進展”している結果となりましたが、まちの将来像の実現に寄与する重点的な取組みという観点からみると、重点プロジェクトとしての成果を更に向上させるよう、今後改善していかなければならないと分析しております。
- 今回の評価では、基本方針及び重点プロジェクトともに一定程度、進展しておりますが、重点プロジェクトにおける進展度合いが低く、重点施策としての意味合いを更に強めていく必要があります。次期計画の策定においては、重点施策の色を際立たせ、メリハリのある計画づくりに努めていきます。

### (3) 分野別検証

生活・環境	人と環境にやさしい 安全で快適に暮らせるまち
<p>&lt;基本方針&gt;</p> <p>自然と人が共生できるよう、環境保全や循環型社会の形成に配慮し、町民の快適な暮らしを支える生活環境の向上に取り組めます。また、災害などから町民の生命と財産を守り、誰もが安全で安心して暮らすことができる、やさしさのある住み良いまちづくりを進めます。</p>	
<p>&lt;これまでの成果・検証&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 環境への影響に配慮した循環型社会を推進するため、町内会街路灯のLED化による温室効果ガスの削減や、有料指定ごみ袋のサイズ追加によるごみの減量化・資源化等に取り組んできました。また、環境美化の推進や生活衛生の確保を図るため、遊休施設の解体や共同墓の設置、空家対策計画の策定等にも取り組んできました。</li><li>○ バイオマス燃料化施設における固定燃料の製造が平成31年度末で中止となり、民間事業者による施設の存続を含め、今後の方向性の検討が必要となります。</li><li>○ 道路事業については、計画的な町道整備のほか、橋梁長寿命化計画に基づく橋梁改修、象徴空間周辺のアkses道路整備等に取り組んできました。また、長年の国への要望が実を結び、国道36号白老拡幅事業（樽前～社台）が着工となりました。</li><li>○ 水道事業については、経営の健全化を図るため、包括的民間業務委託を実施しました。一方、下水道事業については、公営企業会計への移行を進めるほか、懸案事項であったMICS（汚水処理施設共同整備）事業にも取り組んできました。</li><li>○ 地域公共交通については、平成29年10月に地域公共交通網形成計画を策定し、抜本的な路線・ダイヤ改正を実施しました。あわせて、デマンドバスの導入も行い、利用者の利便性向上と利用促進を図ってきました。</li><li>○ 公共施設等の更新時期が今後、集中することから、立地適正化等を意識した施設更新とまちづくりと連携した公共交通ネットワークの形成が求められます。</li><li>○ 地域情報化については、住民の利便性と行政の効率化等を図るため、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）を導入するとともに、セキュリティ環境を強化し、外部からの攻撃や個人情報等の漏えい防止等に努めてきました。</li><li>○ 消防・救急及び防災については、消防車両の更新やデジタル無線の整備など、消防・救急体制の充実を図るとともに、東日本大震災や胆振東部地震の教訓を踏まえながら、災害時や緊急時における情報伝達手段の多様化・多重化や、非常用電源装置の導入、公衆無線LAN環境の整備等を進めてきました。また、防災マスター会との連携事業や、自主防災組織の設立を促進させながら、地域防災力の向上を図ってきました。</li><li>○ 近年の大規模災害を踏まえ、自助・共助による日頃からの備え等の普及啓発に取り組むとともに、高齢者、障がい者、外国人等の要配慮者への災害時の情報伝達や避難誘導、避難所運営のあり方など、関係機関等との連携による支援体制の整備を進めていくことが求められております。</li></ul>	

健康・福祉	支えあい みんなが健やかに安心して暮らせるまち
<p>&lt;基本方針&gt;</p> <p>自らが積極的に行う健康づくりを推進するとともに、安心して子どもを産み育て、誰もが生涯を通して住み慣れた地域でいきいきと健やかに生活することができるよう、町民と行政が連携し、みんなで支えあう心の通ったまちづくりを進めます。</p>	
<p>&lt;これまでの成果・検証&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育園等へのフッ化物洗口や中学生へのピロリ菌除菌の他、がん検診の無料クーポン券の交付、結果返却会による個別保健指導等、ライフステージや個々の状態に応じた、きめ細やかな保健サービスの充実に取り組んできました。</li> <li>○ 国民健康保険制度改革（広域化）への対応や生活習慣病重症化予防対策により、赤字会計からの脱却を果たしました。</li> <li>○ 苫小牧医師会の協力のもと、休日における医療体制の確保を図るとともに、救急患者の受入体制の徹底により、救急医療体制の充実に取り組んできました。</li> <li>○ 子どもたちが健やかに育つよう、健康診査や健康相談等を通じて、心身の成長を育む環境づくりに努めてきました。また、特定不妊治療助成や新生児聴覚検査費助成、子ども医療費助成など、各種支援策の拡充により、子育て世代の経済的負担を軽減させてきました。</li> <li>○ 認定こども園への移行や、子育てふれあいセンターの大規模改修など、子育て環境の整備促進のほか、子育て支援ファイル「みらいすけっち」の作成や、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置など、子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりに取り組んできました。</li> <li>○ ライフステージに合わせた子育て情報や制度のPRについて、時代に即した新たな周知方法の検討が重要になってくると認識しています。</li> <li>○ 障がい者に関する相談支援体制の充実や、障がい者差別解消法の施行に伴う職員対応マニュアルや福祉ガイドブックの作成のほか、コミュニケーション支援ボードの活用など、障がい者を地域全体で支えることができる仕組みづくりに努めてきました。また、要支援者避難支援計画や運営マニュアルを作成し、緊急時における体制強化に取り組んできました。</li> <li>○ 高齢者福祉については、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者が安心して暮らせる環境づくりに取り組んできました。また、インフルエンザや肺炎球菌の予防接種料金の一部助成により、高齢者の健康保持や増進を図ってきました。</li> <li>○ 一人暮らしや認知症の高齢者が増加しており、多様な生活支援サービスの創出、見守り体制づくりの強化が必要となります。</li> <li>○ 複合的な問題を抱える家庭が増加しており、相談内容が多様化・複雑化するなかで、制度や枠組みを超えて、相談できる体制づくりが必要となります。</li> </ul>	

教育・生涯学習	生きる力を育み 生きがいを実感できるまち
<p>&lt;基本方針&gt;</p> <p>家庭、学校、地域の連携を深め、次代を担う子どもたちが、確かな学力と体力、豊かな人間性を育むことができる教育環境の整備を進めます。また、アイヌ文化の伝承・保存、普及をはじめ、歴史や文化を大切に受け継ぐとともに、年齢にかかわらず誰もが生涯にわたって、生きがいを持って心豊かに暮らすことができるまちづくりを進めます。</p>	
<p>&lt;これまでの成果・検証&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 白老中校区、白翔中校区に小中一貫型コミュニティ・スクールを導入し、確かな学力の定着や地域に開かれた学校づくりに取り組んできました。また、子どもチャレンジ事業による漢検・英検等の受検支援のほか、ペッパーを活用したプログラミング教育の推進など、特色のある教育活動を進める一方で、平成28年度から能代市の教育視察を開始し、教師の指導力の充実を図ってきました。近年では、町内小中学校において秋田型授業が徐々に定着しつつあり、一定の成果が現れております。</li> <li>○ 施設面では、学校統廃合に伴う施設改修のほか、校舎の耐震化や大規模修繕を行うなど、安全・安心な教育環境づくりを進めてきました。しかし、萩野小学校において耐震化が完了しておらず、早期対応が求められます。</li> <li>○ 衛生や栄養管理に配慮した安全安心な学校給食の提供を図るため、食育防災センターの改築を進めるとともに、地元食材を使用した郷土給食の実施など、食育の推進にも取り組んできました。</li> <li>○ 子どもの人権を守るため、町制施行60周年の節目に子ども憲章を制定し、それを具現化するための取り組みとして、子ども夢・実現プロジェクト事業を進めてきました。また、郷土への誇りや愛着、共生への理解を広げるため、アイヌ文化を学ぶふるさと学習や地域学講座等にも取り組んできました。</li> <li>○ 社会教育、文化、スポーツなどの各施設における老朽化が進んでおり、利用者の利便性安全性を考慮した改修計画の策定が求められます。また、文化団体における人材の高齢化も進んでおり、次世代へ文化を継承するための人材育成が必要となります。</li> <li>○ アイヌ文化の振興や普及啓発等を図るため、民族共生象徴空間と連動したまちづくりを進めるとともに、イオル再生事業による伝統的空間の再生や人材育成などに取り組んできました。</li> <li>○ 姉妹都市交流については、町民主体による「つがる部会」や「ケネル白老フレンドシップクラブ」が立ち上がり、民間ベースでの交流活動が活発化しております。</li> </ul>	

産業	地域資源を活かした 個性あふれる産業のまち
<p>＜基本方針＞</p> <p>厚みのある産業構造と豊富な地域資源を有効に活かしつつ、地域産業の経営基盤の強化を促進します。あわせて、「食材王国しらおい」の推進による地場産業の連携や企業誘致による新事業の創出など、バランスのとれた産業の振興を図り、新たな雇用が生まれる、個性あふれるまちづくりを進めます。</p>	
<p>＜これまでの成果・検証＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 港湾については、毎年、着実な整備促進が図られています。現在は、西外防波堤まで完了し、残りは島防波堤の延伸のみとなっています。また、ポートセールスの継続実施により、取扱貨物量が100万t超で推移しているほか、平成29年度には大型クルーズの寄港が実現し、今後の利用促進に期待しているところです。</li> <li>○ 首都圏企業への積極的な訪問、様々な機会・媒体によるPR、各種支援制度の有効活用等により、新たな企業の進出や、町内企業の動きが活発化し、町内経済が好転しつつあります。一方で、進出企業における労働力不足が大きな課題となっており、早急な雇用対策が求められています。</li> <li>○ 雇用対策としては、季節労働者の通年雇用に向けた各種事業を展開したほか、地元高校生や子育てママに対する就職支援として、合同企業説明会や各種セミナー等を開催してきました。慢性的な人手不足を解消するためには、新規学卒者や就職希望者への支援のほか、Uターン等対策も含めた積極的な労働力の確保が必要と認識しております。また、Uターン就職希望者を増やすためには、幼少期における郷土愛の醸成が不可欠であると捉えております。</li> <li>○ 中小企業や個人事業者の経営安定に資するための融資や助成制度の充実に努めてきました。また、民族共生象徴空間の開設を契機として取り組んできた空き店舗等活用・創業支援事業や地域特性を活かした商業観光振興事業等が功を奏し、3カ年で19件の新規出店等が見られました。</li> <li>○ 民族共生象徴空間の来訪者100万人の受け皿整備として、民族共生象徴空間受入体制整備事業のほか、白老駅北整備事業に取り組んできました。また、観光客誘客推進事業による、アイヌ文化と融合した新商品開発や体験メニューの造成等にも取り組み、DMOの収益事業の創出に努めてきました。</li> <li>○ 新規就農者に対する支援策として、農業次世代人材投資事業や簡易牛舎の建設補助である畜産業担い手強化対策事業に取り組み、農業経営の安定化に努めてきました。</li> <li>○ 適切な森林整備・保全を図るため、町有林管理事業や未来につなぐ森づくり推進事業、森林・山村多面的機能発揮対策推進事業等に取り組んできました。</li> <li>○ 水産資源の管理・拡大を図るため、ウニやナマコ、マツカワなどの種苗放流による栽培漁業を促進するとともに、サメやヒトデなどの有害生物処理も行い、良好な漁場の確保に努めてきました。</li> <li>○ 1次産業については担い手不足が大きな課題となっており、農業人フェアへの参加や農業関係の大学での就農相談窓口の開設など、人材誘致の強化が求められます。</li> </ul>	

自治	人と人との理解と信頼による協働のまち
<p>＜基本方針＞</p> <p>自治基本条例に基づき、自主的な町民活動や町政参画を促進します。また、町民と行政との対話や情報共有を図りながら、効率的かつ効果的な行財政運営を推進することにより、お互いへの理解と信頼を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働のまちづくりを進めます。</p>	
<p>＜これまでの成果・検証＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 協働のまちづくりの深化に向けて、役場内に「協働のまちづくり推進会議」と、実動部隊となる「協働のまちづくり推進班」を設置し、協働に関する現状把握や調査研究等を進めてきました。また、町民まちづくり活動センターにおいても、テーマ型コミュニティを柱とする「町民活動サポートセンター」を新設し、団体活動の促進を支援するための情報発信や共有等に取り組んできました。</li> <li>○ 地区コミュニティ計画を策定し、集落支援員を配置しながら、地域力による地域課題の解決に向けて取り組んできました。また、平成30年度には、自主的、主体的な地域活動の運営支援として、「がんばる地域コミュニティ応援補助制度」を創設し、地域づくり活動の活性化と、他地域との連携促進等に努めてきました。</li> <li>○ 町民の協働意識の向上と参加促進を図るため、協働のまちづくりセミナーや、多文化共生シンポジウム、白老みらい創りプロジェクト等を開催し、自治基本条例の基本原則である情報共有、参画、協働の推進に努めてきました。また、自治基本条例については、平成28～29年度の2カ年をかけて検証と見直しを実施し、自治基本条例検証委員会からの提言を受け、条例改正を行いました。</li> <li>○ 町内会の加入率の減少や担い手の不足、役員の固定化などが大きな課題となっており、情報発信の工夫や、気軽に参加してもらうための仕掛けづくり、活動の見える化で存在をアピールする方法など、具体的な取組み策の検討が求められています。</li> <li>○ 公共施設へのニーズや必要とされる規模・量を把握し、的確に対応するため、平成27年度に公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設の長寿命化を図りながら適切な維持・保全に努めてきました。</li> <li>○ 効率的・効果的な行政運営を図るため、徹底した事務事業等の見直しや、指定管理制度などのアウトソーシング等の推進及び、電算化による業務量の削減等に努めてきました。</li> <li>○ 財政健全化プランを策定し、財政規律を遵守しながら、行財政改革を進めてきた結果、実質公債費比率はプランどおりに、将来負担比率はプランを上回る数値まで改善しました。今後も限られた財源の中で、行財政改革を推進しながら、持続可能な財政運営を進めていかなければならないと認識しています。</li> <li>○ 団塊の世代の大量退職等に伴い、職員構成が大きく変化している中、人材育成を基本とした人事評価システムを定着させるとともに、職員研修の充実を図り、職員のコミュニケーションや組織マネジメント能力の向上に努めてきました。</li> <li>○ 東胆振1市4町と締結した「定住自立圏形成協定」に基づき、「定住自立圏共生ビジョン」を策定し、医療や環境、産業など様々な分野において、連携・役割分担しながら、安心して暮らし続ける、圏域の形成に努めてきました。</li> </ul>	

#### (4) 目標人口検証

単位：人

	基本構想 人口推計値	住民基本台帳 人口	目標人口	目標人口と 実数の差
平成22年	19,376人	19,767人	-	
平成27年	18,073人	18,193人	-	
平成31年	-	16,797人	17,100人	303人
平成32年	16,987人	-	-	

※住民基本台帳人口は、3月末日現在

- 第5次総合計画では、平成31年で総人口17,100人と想定していましたが、31年3月末では16,797人と、目標年次1年前において、すでに目標人口が300人以上下回っている結果となっております。人口減少の要因は、「自然減」と「社会減」の双方によるものであり、今後もこの傾向は継続するものと分析しております。
- 年少人口（14歳以下）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）の年齢3区分人口の推移をみると、年少人口と生産年齢人口が減少する一方、老年人口は増加しており、少子高齢化が進んでいる状況にあります。特に、高齢化率においては、24年度の35%から45%へと急激に上昇し、出生数においても、24年度の77人から51人へと大きく減少するなど、人口減少、高齢化率ともに予想を上回る厳しい結果となっております。
- 人口減少に歯止めをかけるためには、出生数の増加や健康寿命の延伸のほか、子育て世代の転入対策などに取り組んでいかなければなりません。そのためにも、次期総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略を連携させながら、重点的に人口減少対策を推進し、だれもが「住んでみたい」、「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めていかなければならないと考えております。

## 6 総括

平成24年度から8年間、当町は第5次総合計画に基づき、町民生活の安定化や地域産業の活性化など、まちの維持発展を目指し、政策・施策・事務事業に全力で取り組んできました。

この間、再度の財政危機に直面した町財政も、財政健全化プランの着実な実行や、過疎地域の指定による過疎対策事業債の活用、ふるさと納税の取組強化等により、緩やかに回復してきております。

このような状況下において、小中学校の統廃合や校舎の耐震化、食育防災センターの建設などの教育環境の改善のほか、民族共生象徴空間や地方創生に資する様々な取組み、さらには、町民の安全・安心を守るための生活基盤の整備や、災害に強いまちづくり、多文化共生をキーワードとした全世代型の人材育成等を進め、小幅であるが着実な前進を図ることができたと分析しております。

次期計画の策定にあたっては、本検証結果を踏まえた中で、以下の6つ視点を取り入れながら、策定作業を進めてまいります。

視点1 住民参加・協働・情報共有による計画づくり

視点2 重点事項や優先順位が明確な計画づくり

視点3 経営感覚を持った計画づくり

視点4 次代を拓く多彩な人を育む計画づくり

視点5 まち・ひと・しごと創生総合戦略と連携した計画づくり

視点6 PDCAサイクルの循環による実効性の高い計画づくり



別紙 これまでの主な事業・取組み

年度	主な出来事	生活・環境	健康・福祉	教育・生涯学習	産業	自治
H24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「防災の日」全町一斉避難訓練の実施</li> <li>大雪で2,500世帯が断水、暴風雨で860戸が停電</li> <li>工業団地にメガソーラー施設建設</li> <li>白老港貨物量106万トン達成</li> <li>石山西通跨線橋開通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新バイオマス固形燃料商品開発事業</li> <li>白老滑空場線改良舗装事業（H24）</li> <li>北吉原バーデン団地排水施設整備事業（H24-H27）</li> <li>公園施設長寿命化計画策定事業</li> <li>北海道総合行政情報ネットワーク更新事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フッ化物洗口事業（H24-）</li> <li>4種混合定期予防接種（H24-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学準備金貸付事業（H24-H27）</li> <li>緑丘小学校校舎耐震診断</li> <li>三中学校開校式典挙行事業</li> <li>スクールバス購入事業</li> <li>アイヌ文化調査研究強化対策事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材王国しらいおいブランド強化事業（H24-H30）</li> <li>首都圏企業誘致・観光誘客活動等推進事業</li> <li>白老町観光大使任命・PR事業（H24-）</li> <li>白老牛生産農家後継者育成事業</li> <li>栽培・資源管理型漁業推進事業（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己啓発研修事業（SM1プログラム）</li> <li>国際姉妹都市ケネル市代表団受入事業</li> </ul>
H25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>白翔中学校開校</li> <li>白老港第3港区供用開始</li> <li>しらいおい子ども未来会議開催</li> <li>北海道日本ハムファイターズ白老町応援大使</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地上デジタル放送視聴対策事業</li> <li>再生資源燃料有効活用事業</li> <li>社台南13号通り改良舗装事業（H24-H25）</li> <li>橋梁長寿命化修繕計画策定事業</li> <li>クッタリウス川災害対策事業（H24-H25）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しらいおい子ども憲章制定</li> <li>子ども夢・実現プロジェクト事業（H25-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白翔中学校開校記念式典挙行事業</li> <li>三中学校統合事業</li> <li>教師力向上事業（H25-）</li> <li>中央公民館講堂資機材搬入口改修事業</li> <li>アイヌ文化基盤強化対策事業（H25-H28）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客誘客推進事業（継続）</li> <li>子育て世代住宅建築応援事業</li> <li>畜産振興推進事業（継続）</li> <li>未来につなぐ森づくり推進事業（継続）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸籍副本バックアップシステム構築事業</li> <li>国際姉妹都市ケネル市訪問交流事業</li> <li>財政健全化プラン策定</li> </ul>
H26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>町制施行60周年記念式典挙行政</li> <li>「民族共生の象徴となる空間」を2020年にポロト湖畔で一般公開する旨の閣議決定</li> <li>石狩地方南部地震で観測史上最大の震度5弱観測</li> <li>低気圧停滞による大雨災害発生、記録的短時間大雨情報4回発表、ケリラ豪雨により河川氾濫</li> <li>過疎地域指定、地域担当職員制度スタート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役場前人道踏線橋改修事業（H26-27）</li> <li>ウトカンベツ川改修事業（H25線・H26-27）</li> <li>都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業（H26-27）</li> <li>高規格救急自動車更新整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・子育て支援事業計画策定事業</li> <li>健康しらいおい（第二次）計画策定（H26-R4）</li> <li>白老町食育推進計画策定（H26-）</li> <li>高齢者肺炎球菌・水痘定期予防接種開始（H26-）</li> <li>白老町避難行動要支援者避難支援計画策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールソーシャルワーカー活用事業（H26-）</li> <li>食育・防災センター建設事業（H24-H26）</li> <li>各小中学校給食配膳室改修事業</li> <li>白老中学校テニスコートフェンス改修事業</li> <li>柔剣道場屋根改修事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代・移住者等定住促進支援事業（H26-）</li> <li>産業（商工・観光）振興計画策定事業</li> <li>特産品PR事業（H26-）</li> <li>消費拡大・地域商業活性化事業</li> <li>首都圏企業誘致フェア開催事業</li> <li>農業基盤整備促進事業（H26-H28）</li> <li>北海道青年就業給付金事業（H26-H29）</li> <li>ふるさと農園撤去事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域担当職員制度運用開始</li> <li>コミュニティ計画策定事業</li> <li>町制施行60周年記念事業</li> <li>東胆振定住自立圏形成協定締結</li> <li>白老町過疎地域自立促進市町村計画策定</li> </ul>
H27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>しらいおい食育防災センター供用開始</li> <li>子ども医療費助成制度開始</li> <li>白老町長、白老町議会議員選挙</li> <li>低気圧通過により、竹浦虎杖浜海岸に高波被害発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メツ川災害対策事業（H26-H29）</li> <li>大型水槽車更新事業</li> <li>消防救急デジタル無線活動波整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども医療費助成事業（H27-）</li> <li>子育てタウンしらいおい推進事業</li> <li>人工透析患者車両購入事業（H27-H28、H30）</li> <li>第3期白老町地域福祉計画策定（H27-31）</li> <li>第3期白老町障がい者福祉計画策定（H27-32）</li> <li>第4期白老町障がい者福祉計画策定（H27-29）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社台・白老・緑丘小学校統合事業</li> <li>竹浦小学校校舎移転事業</li> <li>白老中学校校舎耐震化対策事業</li> <li>象徴空間整備促進・活性化事業（H27-H32）</li> <li>白老町教育大綱策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレミアム商品券発行事業</li> <li>特産品PR事業拡充（システム委託）</li> <li>地域特性を活かした商業・観光振興事業（H27-H30）</li> <li>農地地回システム運用事業</li> <li>青年畜産農家創業支援事業</li> <li>浜の活力向上支援事業</li> <li>森林・山村多面的機能発揮対策推進事業（H27-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会保障・税番号制度導入事業（H27-）</li> <li>国際姉妹都市ケネル市代表団受入事業</li> <li>地方版総合戦略等策定事業</li> <li>公共施設等総合管理計画策定事業</li> <li>地区コミュニティ支援事業（H27-）</li> </ul>
H28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>新白老小学校開校</li> <li>民族共生象徴空間の正式名称が決定</li> <li>町立病院で皮膚科外来診療開始</li> <li>観測史上初めて1か月に4つの台風が北海道に接近、通過。住宅浸水など被害発生。</li> <li>北海道白老さとふる農園開園</li> <li>役場等の年始年末の休日が12/29～1/3に変更</li> <li>ポロト温泉営業終了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会街路灯LED化整備事業</li> <li>パンノ沢川砂防事業（H27-）</li> <li>消防防災用サイレン装置更新整備事業</li> <li>地域防災力向上事業（H28-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急通報システム更新事業</li> <li>美園児童館大規模改修事業</li> <li>特定不妊治療助成事業（H27-）</li> <li>紙おむつ用のゴミ袋無料回収開始（H28-）</li> <li>糖尿病性腎症重症化プログラム作成</li> <li>B型肝炎、日本脳炎定期予防接種（H28-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクール導入促進事業</li> <li>プロフェッショナル講演会開催（H28-）</li> <li>児童登下校安全対策事業（H28-H30）</li> <li>萩野小学校耐震改修事業（実施設計）</li> <li>史跡白老仙台藩陣屋跡第2次環境整備事業</li> <li>町民温水プール防水・パネルヒーター改修事業</li> <li>総合体育館トレーニング機器購入事業（H28-H30）</li> <li>学校給食地産地産品活用事業（H28-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白老版DMO「まちづくり会社」設立推進事業</li> <li>象徴空間整備による活性化推進会議支援事業</li> <li>中小企業経営安定化支援事業（H28-）</li> <li>空き店舗等活用・創業支援事業（H28-）</li> <li>白老町ブランド認定制度構築事業</li> <li>インバウンド向け滞在型観光新規開発事業</li> <li>虎杖浜温泉PR看板設置事業</li> <li>象徴空間市街地活性化調査検討事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊活用事業（H28-）</li> <li>町民まちづくり活動センター運営事業</li> <li>みらい創りプロジェクト事業（H28-）</li> <li>多文化共生人材育成推進事業</li> <li>人材育成基本方針・人事評価制度の改定・運用</li> </ul>
H29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>民族共生象徴空間造成工事開始</li> <li>国道36号（樽前～社台）4車道幅工工事開始</li> <li>ナチュラルサイエンス北海道工場竣工</li> <li>台風18号被害により竹浦橋通行止め</li> <li>白老白翔中学校野球部全国制覇</li> <li>元気号ダイヤ改正、デマンド交通開始</li> <li>白老町文化団体連絡協議会創立50周年記念</li> <li>アイヌ民族博物館開館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポロト公園線改良舗装事業（H29-H31）</li> <li>萩野12間川災害対策事業（H29-）</li> <li>住生活基本計画策定事業</li> <li>公営住宅等長寿命化計画策定事業</li> <li>萩野団地解体事業</li> <li>地域公共交通活性化事業（H28-H29）</li> <li>大町公共トイレ解体事業</li> <li>白老町共同基盤設置事業</li> <li>P C B 廃棄物処分事業</li> <li>携帯電話119番受信装置更新事業</li> <li>汚水処理施設共同整備事業（MICS）（H29-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海の子保育園大規模改修事業</li> <li>子育て支援パッケージ事業（H29-）</li> <li>5歳児幼児教育保育料無償化事業</li> <li>生活圏改修事業（H29-H30）</li> <li>第2期保健事業実施計画（白老町データヘルス計画）策定（H30-R5）</li> <li>国保特定健診無料化（H29-）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもチャレンジ支援事業（H29-）</li> <li>中央公民館耐震改修事業（耐震診断）</li> <li>移動図書館車更新事業</li> <li>ふるさと再発見講座事業</li> <li>総合体育館玄関庇屋上防水改修事業</li> <li>象徴空間予定地・周辺整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフォーム等促進助成事業</li> <li>白老牛商標登録事業</li> <li>畜産業担い手強化対策事業（H29-）</li> <li>白老ふるさと2000年の森産品購入事業</li> <li>客船入港歓迎事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務書類作成支援事業</li> </ul>
H30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>海の子保育園公私連携幼保連携型認定こども園として民営化開始</li> <li>鍋ダイエットクック白老工場の完成</li> <li>萩野リゾートとパートナーシップ協定締結</li> <li>台湾原声童声合唱団コンサートin白老開催</li> <li>北海道胆振東部地震発生</li> <li>白老小学校開校140周年記念式典開催</li> <li>竹浦小学校130周年記念式典開催</li> <li>象徴空間愛称「ウボボイ」、ロゴマーク決定</li> <li>白老町バイオマス燃料化施設休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公衆無線LAN環境整備事業</li> <li>遊休施設解体事業（旧社台公民館等）</li> <li>萩野12間線跨線橋撤去事業（H30-H31）</li> <li>末広東通り跨線橋（自由通路）整備事業（H30-H32）</li> <li>公園通照明灯設置事業</li> <li>高規格救急自動車更新整備事業</li> <li>防災行政無線送受信設備改修事業</li> <li>フラワーセンター移設事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認定こども園防犯対策整備事業</li> <li>心の健康推進事業（H30-）</li> <li>中学生ピロリ菌検査・除菌支援事業（H30-）</li> <li>人工透析患者送迎車両購入事業</li> <li>第5期白老町障がい福祉計画策定（H30-R2）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員用パソコン等整備事業</li> <li>プログラミング教育推進事業（H30-）</li> <li>白老中学校大規模改修事業（28線-H30）</li> <li>陣屋資料館内施設改修事業（トイレ洋式化）</li> <li>桜ヶ丘運動公園テニスコート実施設計</li> <li>象徴空間周辺整備事業（H29-H31）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>象徴空間受入体制整備事業（H30-H32）</li> <li>アヨロ鼻灯台等周辺整備事業</li> <li>農業次世代人材投資事業</li> <li>森林GIS導入事業</li> <li>水産資源有効活用事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町職員住宅解体撤去事業（緑丘職員住宅）</li> <li>庁舎駐車場整備事業</li> <li>役場庁舎改修整備計画策定事業</li> <li>地方税共通納税システム導入事業</li> <li>森林GIS導入事業</li> <li>多文化共生人材育成事業（H30-H32）</li> <li>がんばる地域コミュニティ応援事業（H30-）</li> </ul>
H31年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央通照明灯設置事業</li> <li>北吉原駅周辺整備事業</li> <li>町営住宅階段非常照明取替事業</li> <li>（仮称）末広団地町営住宅建替事業基本設計策定事業</li> <li>白老港臨港道路12号線路面空洞調査事業</li> <li>防火水槽新規設置事業</li> <li>白老町代替災害対策本部整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代包括支援センター開設準備事業</li> <li>子育てふれあいセンター大規模改修事業</li> <li>子ども・子育て支援事業計画策定事業</li> <li>新生児聴覚検査費助成事業（H31-）</li> <li>白老町自殺対策計画策定（H31-R5）</li> <li>糖尿病性腎症重症化プログラム改定</li> <li>風しん抗体検査・第5期定期予防接種（H31-R3）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校コンピュータ教室パソコン更新事業</li> <li>中央公民館受電設備改修事業</li> <li>多言語対応ガイダンスシステム導入事業</li> <li>桜ヶ丘公園陸上競技場トラック改修事業</li> <li>学校給食用食器整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白老駅北整備事業</li> <li>特産品PR事業拡充（体制強化）</li> <li>観光振興人材養成事業</li> <li>桜ヶ丘公園陸上競技場トラック改修事業</li> <li>ポロトの森誘客推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町史編さん事業</li> <li>白老町公共施設等個別施設計画策定事業</li> <li>総合計画等策定事業</li> <li>下水道企業会計適用事業（H30-H31）</li> </ul>	